

同仁だより

No. 130 2026年 7月号

〒112-0015 文京区目白台3-10-9

TEL: 03-3943-1879

同仁キリスト教会 同仁美登里学園

同仁美登里幼稚園 同仁美登里保育園

E-mail DSyadan@doujin-midoried.jp (教会、社団) info@doujin-midoried.jp (幼稚園、保育園) 発行者 北山正裕



地の塩と同仁

学校法人同仁キリスト教けやき学園 理事長 石橋克己

「地の塩」という言葉はキリスト教に接して来た人には馴染みのある言葉です。

新約聖書の「マタイによる福音書」3章13節で、イエス様は「あなた方は地の塩である」と言われました。「地の塩にならなさい」ではなく、既に「地の塩」なのだ、自分の努力で「地の塩」になるのではない、イエス様に従う者は既に「地の塩」なのだということが記されています。「塩」は生きるために欠かせません。人だけでなく、人の社会（地）に欠かせない「塩」とは何なのか。初めて教会に来た人がそこで感じるものは、先ず教会の雰囲気です。その雰囲気は教会に集まるキリスト者一人一人が醸し出しているものであり、そこにイエス様を感じることであり、それが塩であると言えます。

るかもしれません。私たちの生活

では、塩は味付けであり、防腐剤です。人間社会は常に腐敗の危険にさらされており、放っておけば腐敗します。イエス様が弟子たちに「あなた方は地の塩である」と言われたのは、そうした社会に塩でいることの意味を示唆しています。人は塩であり続けることで自浄能力を持ち、また塩は溶けることで他の人の役に立ちます。体に吸収されなければ役に立たない。キリスト者は塩であって塩の形を残してはならない。社会に溶け込んで初めて塩の意味を持つ。塩気をなくせば塩ではない。塩気を与えるのはイエス様との接触です。イエス様に留まることによって塩の役目を果たすことが出来る。キリスト者に求められていることは、言葉にも、態度にも、生活にも、塩気ににじませること、これがイエス様の言われた「地の塩」であるということではないでしょうか。翻って、キリスト教が原点であり、キリスト教価値観、キリスト教主義を掲げている同仁はどのように「地の塩」であるべきなのかと考えます。理念や主義は掲げただけでは価値はありません。塩であることを実践しなければ意味がありません。そこに連なる者はどうあるべきか。そうしたことを常に問い続ける必要があると思います。キリスト教は形ではない。キリス

スト教主義も形ではない。形を示す

ことは容易であり、そこに安住していたいという心地よい誘惑もあります。しかし、その形に中身を持たせること、すなわち実践が伴って初めて価値が生まれます。数万、数十万の人々が苦しめられているパレスチナ、ウクライナやイラン、その他地域での軍事行動を見ると、その行為を行うものが、それがキリスト教であれイスラム教、ユダヤ教であれ、信仰を名目にしていて欺瞞を見るとき、そんな名目は形に過ぎないことを私たちは知っています。世界という大きな器ではなく、この小さな同仁という社会で、形でもある平穏な日常に安住することの居心地の良さは捨て難いかもしれません。しかしイエス様が弟子たちに求めたのはそうした安住ではなかった。同仁というコミュニティ（教会、学校法人、社団法人）に属する私たちも、ここにいることに安住するのではなく、それぞれが一つとして、「地の塩」としての同仁とともに建て上げて行くという意識と願いを共有することが、同仁を将来につなげるための私たちのチャレンジだと思います。



●巣立ち間近なツミ（都内の公園にて）

何より困難なことはこの実質、時に見えない実質を作ることです。復活のイエス様に会ったという仲間たちを信じず、自分の指でイエス様の傷跡に触れなければ信じないと言ったトマスの前に現れたイエス様は、傷に触れてみなさい、あなたは見たから信じるのか、見ずに信じる者は幸いだと言われました。見えるものだけに目を向けるのではなく、見えなものの価値を維持し大切にすることが信仰であり、キリスト教価値観の根底にあり、御心に適うと信じ、同仁もそうありたいと願います。地域に溶け込んだ同仁が塩であることが覚えて、このことを伝えることが私たちのチャレンジです。

良いものを大事に

テサロニケの信徒への手紙一 5章21節

同仁キリスト教会 牧師 小林 恵

先日ウォーキングをしていたら、小学生の男の子4人が横一列になり、歩道をふさいで前を歩いていました。「ごめんね、通らせてくれる？」と言うと、「あつ、すみません」と道を開けてくれました。

「ありがとう」と通り抜けた後で後ろをふり返ってみると、縦横2人になり道の片側を開けて歩いていました。特別な事ではありませんが、何げないやり取りの中で、とてもうれしい気持ちになりました。

SNSやAIといった文明技術の発展により、かつてないほど生活が豊かで便利になった一方で、人間社会において大切にまでもり続けてきたものが日々失われているようにも思います。

「良いものを大事にしない」と聖書は奨めています。人間が良く生きるために与えられている「良いもの」―親切、慰め、叱咤、激励、支援、友情、犠牲―これらはみな、いのちを愛する心です。

81年前、「良いもの」を忘れ去った世界は、「良いもの」でないもの―憎しみ、傲慢、敵意、攻撃―で人々の心を支配しようとした。

いのちを愛する心の根底にあるのは、主イエス・キリストの十字架の死と復活による命の恵みです。この御恵みに感謝し、それぞれに与えられている「良いもの」を大事にしていきたいものです。平和を願う志はすべて、ここにあらることを信じて祈りつつ。

教会

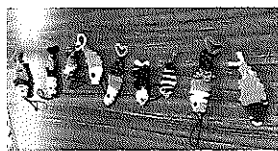
子どもの教会 花の日・子どもの日 警察署・消防所を訪問



6月は次々にきれいな花々が咲く頃で、いのちや成長に神の恵みを覚えて第2日曜日に「花の日」。

子どもの日礼拝を行いました。この日は、子どもや大人が持ってきた花を聖壇の前に飾って礼拝を行い、そのあとで町の安全を守り、いつもお世話になっている大塚警察署と老松消防所に感謝の気持ちを込めて花を届けに行きました。

警察も消防も笑顔で迎えてくれるので、子どもたちは毎年楽しみに訪問しています。



6月の第3日曜日、子どもの教会では礼拝の後、家族へのプレゼント作りをしました。この日は幼児から小学2年生まで8人が色とりどりのモールを使って魚の形をしたキーホルダーを作りました。初めはモールをうまく巻けずに苦戦していた子も、先生にコツを教えてもらったり小学生の作り方を見たりして、どれもきれいでユニークな「魚」ができていました。

フレンチブー

学園

二人で生み出す曲の楽しさ、美しさ デュエットコンサート



同仁美登里学園には3階の集会室に2台のグランドピアノがあります。7月12日にはピアノ部恒例の「デュエットコンサート」が行われます。

約40名の生徒が先生と弾いたり、親子や友だち同士で弾いたり、時にはピアノ以外の楽器が入ることもあります。

曲も童謡、クラシック、ポピュラーソングなど幅広い曲が演奏されます。

相手と対話するように息を合わせることによって二人から生まれる曲の美しさや楽しさが生み出されてきたり、お互いが励まし合ったり、力を合わせていることを演奏者も聴く方も体験し会場が一体となって楽しむことができます。

午後1時から約2時間半位の予定です。日頃の練習成果を一杯発揮できますようにどうぞ皆さん応援して下さい。



●昨年のデュエットコンサート（左から お母さんと 中 兄弟と、 右 先生と）



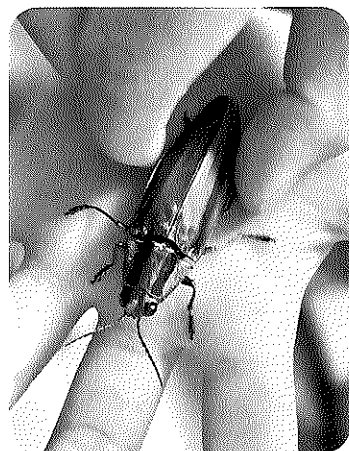
幼稚園

生き物が生きる場所 ビオトープ

同仁美登里幼稚園 園長 安心院敏子

自然界の不思議は子どもたちの好奇心や探求心を膨らませてくれます。美登里幼稚園の園庭ではアオスジアゲハを追いかけて、池では自前の釣り竿でドジョウを釣っている子どもいます。運よく（生き物にとっては運悪く？）捕まると飼育箱に入れられ子どもたちなりに調べて世話をしています。方法が適切でなかったり、置き忘れられてしまったりすることもあります。教師たちは生き物にも神さまから与えられた大切な命があることに気付いてほしいと、日々、子どもたちと向き合っています。そんな姿から思い出すのは、ある年の年長組でのこと。園庭にビオトープができただばかりで子どもたちは興味津々。ヤゴを捕まえ「飼いたい！」と水槽で飼ってみることにしました。困ったのは肉食のヤゴの餌です。一人の子

が池のメダカを捕まえようとする。「メダカがかわいそう。」「食べる物がなかったらヤゴがかわいそう。」と主張し合う子どもたち。クラスで話し合うことに。「池の中ではメダカを食べているから、かわいそうではない。」「でも、オレたちが捕まえたならメダカが絶滅する。」「子どもたちの真剣さに驚かされました。既にメダカもカメも飼っているクラスでしたから「メダカみたい」に餌を買ってきてあげるのはどう？」という意見が出て調べるとアカムシを食べると判明。翌日、複雑な気持ちで買ってきたアカムシを子どもたちと水槽に入れると、おとなしかったヤゴが動きだし「やっぱり、お腹が空



ビオトープでみつけたタマムシ

いてたんだ！」と。それからアカムシを水槽に入れることが日常となり、そのうち、水槽に白いアカムシを発見。「白いのはヤゴが吸ったやつ。」というA君の言葉は、子どもたちの経験として買ったアカムシでよかっただろうかという迷いとともに覚えていきます。今でも園庭でトンボをみつけると、あの時の子どもたちの真剣な眼差しが蘇ります。「命の大切さ」を子どもたちに「教える言葉」は二十年経った今もみつかりません。けれど、今、子どもたちとともに命に向き合う教師たちを見て、その不思議さや尊さを一緒に感じて感じるのとが、言葉よりも大きなメッセージとして伝わっていることを実感しています。

保育園

ひまわりプロジェクト

同仁美登里保育園 園長 堀 万美

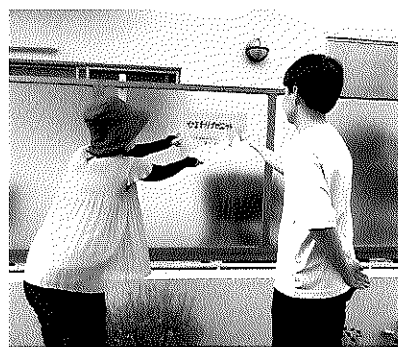
毎年保育園の外門の花壇にひまわりを育てています。

今年も2歳児のつぼみ組の子どもたちが小さな園芸ポットに種をまきました。

保育者から子どもたちの小さな手の平に3つの種をのせるとても大切そうに土にまき、スプーンで水をまいてお世話が始めました。

「おめめが出たね」「大きくなってね」と春から野菜も育てている経験からも植物が育つ興味に繋がっていました。

つくしの会のお手伝いの保護者の方にもお願いをし、「大きなお家にお引越しね」とつぼみ組の

●ひまわりプロジェクト
つくしの会（保護者）と共に

に感謝し、夏に向けて大きくなっていくことを祈ります。



●「おめめがでたね」「おおきくなってね」とつぼみ組（2才）が植え替えました。

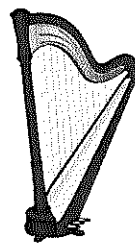
子どもたちと一緒に花壇に植え替えました。陽の光、雨の恵み

楽器・施設設備修繕のための

チャリティー

コンサート

予告



近年、インターネットとスマホで情報があふれ、変化のスピードがとても速いことが現代社会の大きな特徴だと言われています。技術発展やグローバル化で便利さと豊かさが進む一方で、競争やストレス、選択肢の多さに人が振り回されやすい社会でもありさまざまな課題が深刻化しています。

そんな中で同仁社団、同仁キリスト教会では「音楽」が心を癒し、楽しませ、人を育ててくれる力を信じその事業にも、伝道活動にも音楽を積極的に取り入れてきました。

この40年間ハープもピアノも多くの音楽家に大切に使用され、そのひびきのよさは今も変わらなうと言っていたいいます。

その夢のひとつは10年前に「アフタヌーンコンサート」という形で当教会の礼拝堂で行われることになり、ハープ奏者と共フルートやピアノ、ビオラ他多くの楽器も加わり今年で10年目、110回を迎えた。

師であつた佐藤厚子さんは、40年近く同仁美登里学園ハープ部講師を務める傍ら、将来ハープ界を担う人材の発掘、指導、育成に携わっている。

今回のチャリティーコンサートは二人にハープを通してつながる多くの人々から賛同や心強い応援を受けて開催する。

ハープでつながる
やさしい輪

●右から清水彩華さん、佐藤厚子さん、清水梨紗さん

教会は伝道136年、今の礼拝堂は築46年経ち、40前に寄付によっていただいたハープも、購入したグラインドピアノもメンテナンスが避けられない時期になってきました。これからこの場所で音楽活動を末永く続けていくためにこのたび佐藤厚子さんと清水梨紗さんが中心になって企画したチャリティーコンサートが8月29日に開催されます。

掲示板

- ◆7月◆
1日(水) がんカフェ
3日(金) 夕涼み会
16日(木) 17日(金) 年長お泊り会
12日(日) 学園ピアノ部デュエットコンサート
27日(月) アフタヌーンコンサート
- ◆8月◆
5日(水) がんカフェ
9日(日) ~ 15日(土) 同仁社団夏季休業
29日(土) チャリティーコンサート
- ◆9月◆
2日(水) がんカフェ
5日(土) 保育園創立20周年記念礼拝

子どもの教会
週日曜日 AM9:30 ~ 10:30
主日礼拝
毎週日曜日 AM11:00 ~ 12:00
けやき塾
7月4日(土) 9月5日(土)
10:00 ~ 12:00
※8月はお休みです

コンサート情報

- 7月
★11日(土) 午後3時
佐原敦子無伴奏ライオンコンサートVol.12
★27日(月) 午後1時
アフタヌーンコンサート
ハープ 酒井絢加
- 8月
★29日(土) 午後1時・3時半
チャリティーコンサート
ハープ 佐藤厚子・清水梨紗
- 9月
★6日(日) 午後4時
たそがれコンサート
泉アンサンブル
★12日(土) 午後1時半
ピアノ発表会
★13日(日) 午後5時
ルネッサンスリコーダーの饗宴Vol.4
金子音楽企画
★19日(土) 午後5時
大島博レックス生生の会 発表会
★22日(火) 午後4時半
ピアノ(付)女声合唱・混声合唱
エンジェル・コア
★23日(水) 午後2時半
NOTES music発表会
★27日(日) 午後4時
ラフティットファミリーハープコンサート
西郷厚子
- 10月
★3日(土) 午後3時半
デュオコンサート
サクソフォンとピアノ 田中由貴
★11日(日) 午後6時
第44回東京マデウス合唱団定期演奏会
★17日(土) 午後2時
笛吹たちの休日 フルートコンサート
銀笛の会
★18日(日) 午後4時
ピアノ発表会
杉田ピアノ教室
★24日(土) 午後6時
明治大学文芸部楽団ロンドンコンサート
★25日(日) 午後3時半
RE SWITZERLAND スタック Vocal Concert
星野律子
★30日(金) 午後7時
Saxophone Ensemble CLEAR
Regular concert Vol.2
横山篤史
★31日(土) 午後3時半
第20回定期演奏会
アンサンブル エスカルゴ